

2018年度 上期決算説明会

2018年10月25日
富士通フロンテック株式会社

1. 2018年度 上期決算概要

- ◆ 連結経営成績
- ◆ セグメント別売上高・営業利益
- ◆ 地域別売上高
- ◆ セグメント別事業概況
- ◆ 連結財政状態、キャッシュ・フロー

連結経営成績

【億円】

摘要	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に帰属する 当期純利益	1株当たり 当期純利益
2018年度上期	477	8	10	5	21.57円
2017年度上期	474	19	19	13	55.40円
前年同期比	+4	△11	△9	△8	
前回公表値	456	9	7	4	16.69円
前回公表比	+21	△1	+3	+1	

■ 前年同期比

【国内】

- ・ トータルゼータ端末の新機種やtoto端末などの増加
- ・ 営業店端末の端境期による減少

【海外】

- ・ 小型リサイクルユニットの新機種の増加

■ 前回公表比

- ・ 海外商談の前倒しなどにより売上高が増加
- ・ 上期を通じた円安基調による為替差益の計上による経常利益の増加

セグメント別売上高・営業利益

【億円】

摘要	2017年度上期		2018年度上期		前年同期比	
	売上高	営業利益	売上高	営業利益	売上高	営業利益
グローバルプロダクト ビジネス	187	7	180	△6	△7	△13
サービスインテグレーション ビジネス	134	15	139	12	+4	△3
パブリックソリューション ビジネス	88	2	101	6	+13	+5
フロントソリューション ビジネス	63	3	56	2	△7	±0
その他ビジネス/ 全社費用（戦略投資含む）	0	△7	0	△7	±0	±0
計	474	19	477	8	+4	△11

地域別売上高

【億円】

摘要	2017年度上期	2018年度上期	前年同期比
国内	358	353	△5
海外 ()内は売上高比率	116 (24.4%)	124 (26.0%)	+9
米州	54	53	△1
欧州	35	53	+18
アジア	27	18	△9
中国	(16)	(9)	(△7)
計	474	477	+4

期中為替レート (1USD=)	111円	110円
--------------------	------	------

セグメント別事業概況（1）

グローバルプロダクトビジネス 180億円（前年同期比△7億円, △4%）

- 流通店舗向け小型ATMの展開開始
- 海外メカコンポーネント新機種（小型リサイクルユニット）の売上増（SCO向けなど）
- 営業店端末が展開時期の端境期による減

- 下期の取り組み
- 1) 北米流通店舗の現金管理ビジネスの拡大
 - 2) 国内銀行店舗軽量化ソリューションビジネスの拡大

サービスインテグレーションビジネス 139億円（前年同期比 +4億円, +3%）

- 北米でのRFIDソリューションの売上増
- 国内現金管理運用サービス（TC/CM）の大口展開開始
- 国内LCMサービスビジネスなどの増

- 下期の取り組み
- 1) 現金管理運用サービス（TC/CM）ビジネスの拡大
 - 2) 国内新領域SIビジネスの拡大
 - 3) 海外ソリューションビジネスの拡大（RFIDなど）

セグメント別事業概況（２）

パブリックソリューションビジネス 101億円（前年同期比+13億円，+15%）

- トータルゼータ端末の新機種展開による増
- toto端末の展開による増
- JRA向けキャッシュレス発売機の展開開始

下期の取り組み 1) キャッシュレス発売機の展開拡大（JRA、地方公営）
2) 運用サービスビジネスの拡大

フロントソリューションビジネス 56億円（前年同期比△7億円，△11%）

- 海外RFIDビジネス拡大による増
- 国内流通業向けICクレジットカード対応マルチ決済端末の本格展開開始
- 物流会社向けモバイル端末の大口需要の一巡による減

下期の取り組み 1) ICクレジットカード対応マルチ決済端末の対象業種拡大と関連サービス
ビジネスの展開
2) RFIDの小型新製品拡販、手のひら静脈認証のソリューションビジネス拡大

連結財政状態、キャッシュ・フロー

■ 連結財政状態

【億円】

摘要	総資産	負債	純資産
2018年度上期	723	252	470
2017年度末	713	252	461
前年度末比	+10	±0	+9

自己資本比率
64.2
63.9

■ 連結キャッシュ・フロー

【億円】

摘要	営業C/F A	投資C/F B	引-C/F A+B	財務C/F C	C/F A+B+C	現金及び 現金同等物の 期末残高
2018年度 上期	5	△27	△23	△9	△31	172
2017年度 上期	44	△25	19	△8	11	199
前年同期比	△40	△2	△42	±0	△42	△26

2. 2018年度 通期計画概要

- ◆ 連結業績予想
- ◆ セグメント別売上高・営業利益予想
- ◆ 地域別売上高予想

連結業績予想

【億円】

摘要	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に帰属する 当期純利益	1株当たり 純利益
2018年度計画	1,029	41	33	23	95.99円
2017年度	967	39	38	24	100.50円
前年度比	+62	+2	△5	△1	

海外経済の動向や為替変動リスク等に鑑み、通期連結業績予想を据え置きといたします。

セグメント別売上高・営業利益予想

【億円】

摘要	2017年度		2018年度		前年度比	
	売上高	営業利益	売上高	営業利益	売上高	営業利益
グローバルプロダクト ビジネス	377	11	343	4	△34	△7
サービスインテグレーション ビジネス	283	27	303	29	+20	+2
パブリックソリューション ビジネス	194	11	248	17	+54	+6
フロントソリューション ビジネス	112	4	134	8	+22	+4
その他ビジネス/ 全社費用（戦略投資含む）	1	△15	1	△17	±0	△2
計	967	39	1,029	41	+62	+2

地域別売上高予想

【億円】

摘要	2017年度	2018年度	前年度比
国内	736	743	+7
海外 ()内は売上高比率	232 (23.9%)	286 (27.8%)	+54
米州	107	136	+29
欧州	76	94	+18
アジア	49	56	+7
中国	(29)	(30)	(+1)
計	967	1,029	+62

期中為替レート (1USD=)	111円	105円 ※
--------------------	------	-----------

※第3四半期以降想定レート

3. 最新ソリューションビジネスのご紹介

- ◆ 現金を使わないフロントソリューション
- ◆ 流通店舗向け現金管理運用サービス
- ◆ 新しい金融店舗向けソリューション
- ◆ IoTセンサーソリューション

■ キャッシュレス投票

- ・投票売上拡大/ファンサービス向上に向けたキャッシュレス投票サービスの要求
- ・手のひら静脈を使ったキャッシュレス投票システムを今秋よりJRA東京競馬場にて稼働
 - 現金不要で簡単に馬券購入や払戻が可能
 - 手のひら静脈認証による高い本人認証率で安全な運用を実現
- ・今後、地方公営競技への展開を推進



<キャッシュレス発売機>



<入金精算機>

現金を使わないフロントソリューション（2）

■ ICクレジットカード対応マルチ決済ソリューション・サービス

・経済産業省によるクレジット決済の安心・安全への取り組みに対応し、セキュリティを確保

① クレジット決済システムのIC対応 ② カード情報の非保持化

・マルチ決済ソリューションを導入から保守までオールインワン決済サービスとして提供

・クレジット、デビット、銀聯、電子マネーも1台で対応可能



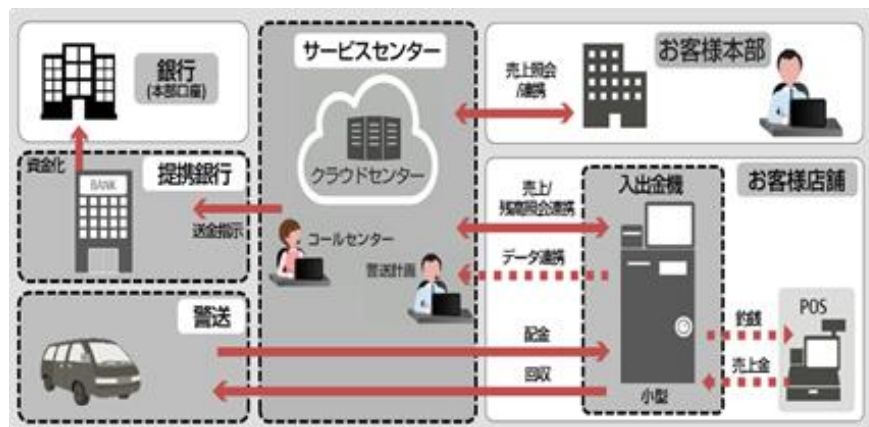
・モバイル型面前決済端末およびタクシー決済端末などの製品ラインナップ完了



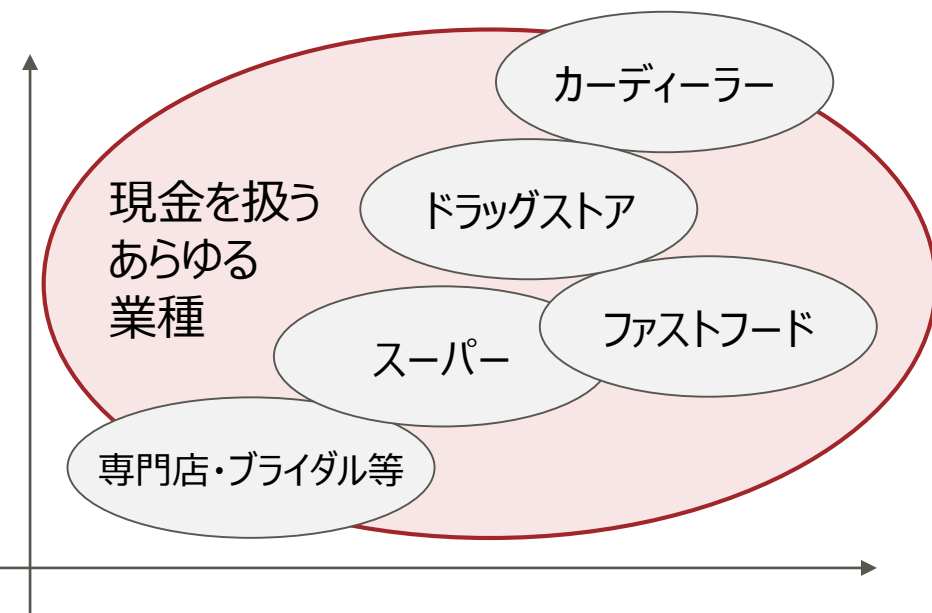
流通店舗向け現金管理運用サービス（1）

■ クラウド型現金管理運用サービス「TeamCloud/CM」（国内）

- ・人手不足の深刻化を背景に現金管理の業務効率化に高い関心
- ・お客様のニーズに応えるソリューションをクラウド環境にて提供
 - 現金管理に係る業務量削減 → 効果的な人員配置、働き方改革への貢献
 - 店舗現金在高の見える化 → 蓄積されたデータの分析による資金運用の効率化
- ・2018年度上期より新たに大手ドラッグストアで展開開始
その他多様な業種で展開および商談中



<TeamCloud/CMサービスの概要図>



<導入先業種の拡大>

■ 北米流通店舗バックオフィス向け現金管理ソリューション

- ・オンライン販売の普及でリアル店舗の売上減少 → オペレーション革新が課題
- ・お客様のニーズに応えるソリューション
 - 現金管理業務プロセスの効率化 → 効果的な人員配置、省人化の実現
 - 売上金をタッチレスで入金 → 即日資金化可能、従業員による不正防止
 - 手のひら静脈認証採用による安心・安全な現金運用
- ・大規模に加えて、中小規模店舗の現金管理ニーズに対応する入出金機のラインナップを整備し、活発な商談・PoCを展開中

<入出金機のラインナップ>



小型店舗向け



大型店舗向け

■ 軽量化店舗向けソリューション

- ・事務処理のさらなる効率化など金融店舗の変革要望の高まり
- ・セミセルフ方式の窓口を実現する事務効率化ソリューションの提案により変革を実現
 - 伝票レス・印鑑レス・現金取り扱いレスを実現
 - 窓口処理スピードの飛躍的向上、事務処理プロセスの大幅短縮、CS向上
- ・都市銀行、地方銀行向けに展開中
 - 特に地方銀行向けを中心に商談が活性化しており、約40件の商談を推進中
 - 今後さらなる拡販を図る
- ・フルセルフ化も含めさらなる製品ラインアップの強化によりビジネスを拡大



行員 お客様



■ 国内：RFID・ビーコン等を活用したトータルソリューションの展開

- ・働き方改革や人手不足を背景に省力化・効率化のソリューションに高い関心
- ・幅広い業種でPoC推進中
 - コンビニ、アパレル、自動車部品などの倉庫管理効率化
 - 施設、倉庫、農業、冷凍車内での温湿度管理他
- ・2018年度5件を事業化、2020年度までに40件以上を目指す



＜センサー付きビーコン＞



＜冷凍車内での温度管理＞



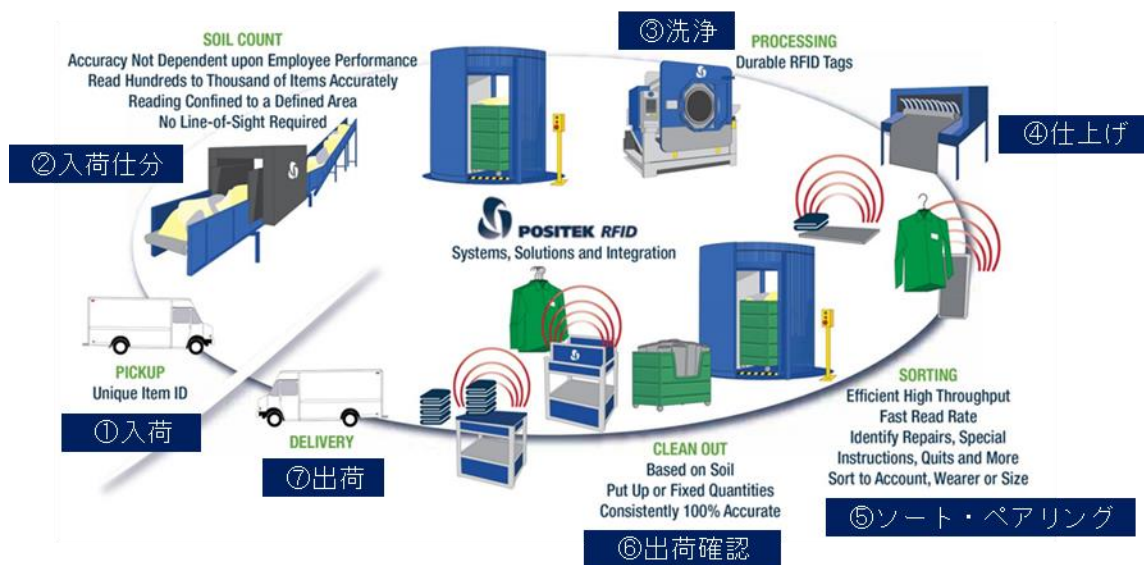
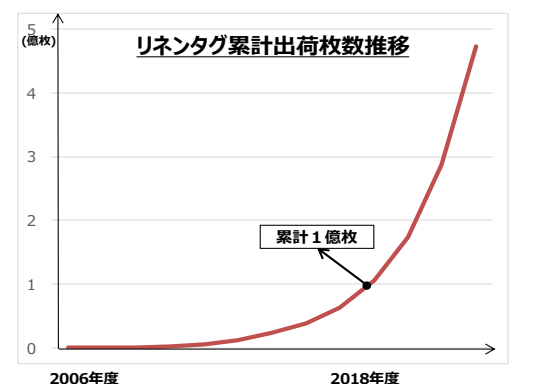
＜工場内の部品ピッキング動線管理＞

■ 海外:協業パートナーとの新たなビジネス機会の創出

- ・昨年、北米POSITEK社を買収
- ・衣料レンタル・ランドリー業界向けに当社の洗濯可能なRFIDリネンタグを利用したソリューションを提供（シェア約75%）
- ・機能強化やRFIDリネンタグの小型化により、既存市場におけるRFID導入率の拡大と新規市場の開拓を推進
- ・さらに、新たなパートナーとの協業も検討中

RFIDリネンタグ

- ・衣類・リネンのレンタル業、ホテル、病院などで活用。
- ・RFIDタグを取り付けた衣類やリネンの追跡・管理が可能。

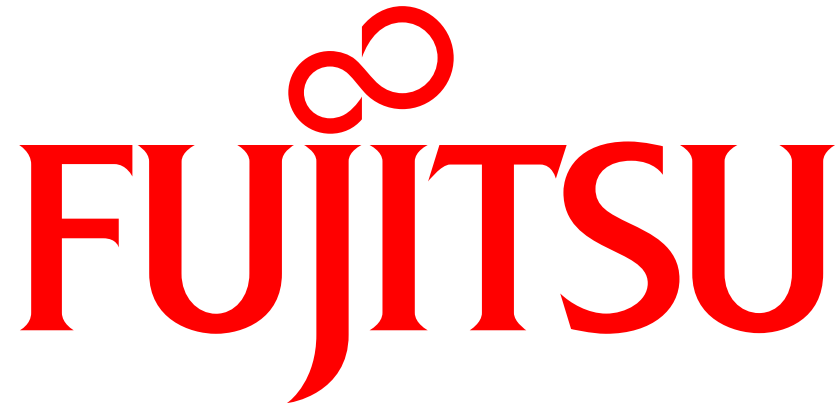


<見通しに関する注意事項>

- 本資料には、富士通フロンテックが現時点で把握可能な情報から判断した想定などにもとづく将来についての計画や戦略、業績に関する予想および見通しの記述が含まれています。
- また、多様なリスクや不確実性（経済動向、関連業界における激しい競争、市場需要、為替レート、税制や諸制度などがあります）を含んでおります。そのため、実際の業績は当社の見込みとは異なる可能性がありますので、ご承知置きください。

<商標について>

記載されている製品名などの固有名詞は、各社の商標または登録商標です。



shaping tomorrow with you